

令和8年度第1回三重県観光誘客推進会議 概要

1 開催日時：令和8年4月21日（火）14時00分から14時10分まで

2 議事概要：以下のとおり

（塩野観光部長）

- ・令和8年度第1回目の県観光誘客推進会議を開催する。
- ・本日の会議では、三重県観光振興基本計画に基づく令和8年度アクションプランと次期三重県観光振興基本計画の策定スケジュールについて報告する。
- ・なお、2点の議題について説明が終わった後、質問や意見をまとめていただく時間を設ける。
- ・それでは、事務局から2つの議題について順次説明させていただく。

※資料1・資料3について、事務局（服部観光部副部長）から説明。

（塩野観光部長）

- ・まずは、8年度アクションプランについて、質問や意見はあるか。

（西田地域連携・交通部長）

- ・観光誘客には、旅行者の移動手段の確保が重要であると認識しており、地域連携・交通部としても、旅行者のニーズに合わせた二次交通の充実に向け、しっかり取り組んでいく。
- ・地域ごとに課題が異なるので、引き続き観光部と相談しながら取り組んでいきたい。

（枅屋農林水産部長）

- ・農林水産部では、令和8年度に80周年を迎える伊勢志摩国立公園の魅力を広く発信するため、エコツアーや記念式典等の記念行事に取り組む。
- ・また、海女漁業と真珠養殖業の価値を高めるため、世界農業遺産登録に向けた機運醸成に取り組む。
- ・取組を進めるにあたり、各部局には連携・協力をお願いする。

（塩野観光部長）

- ・続いて、次期三重県観光振興基本計画の策定スケジュールについて、意見や質問はあるか。

（一見知事）

- ・今年度内に策定を見込んでいる「みえインバウンド誘客計画（仮称）」との計画期間の整合性は。

(塩野観光部長)

- ・次期三重県観光振興基本計画、「みえインバウンド誘客計画（仮称）」に加え、次期総合計画とも計画期間を連動させる方法で検討している。

(一見知事)

- ・先ほど地域連携・交通部長から発言のあった二次交通については、日本版ライドシェアや公共ライドシェアを活用するとともに、特に熊野古道など二次交通が足りないところにおいて、観光部や南部地域振興局と連携して対応してもらいたい。

(塩野観光部長)

- ・それでは、最後に知事から指示をいただく。

(一見知事)

- ・みえインバウンド誘客計画（仮称）有識者会議でも話が上がったが、プロモーションと観光インフラ整備はどちらも重要。
- ・今年度は神宮式年遷宮のお木曳行事が始まり、日本全体や世界からも三重県が注目される絶好の機会なので、しっかりと観光インフラ整備を行うこと。
- ・計画の目標は、腰だめではなく、客観的なデータに基づいて目標達成までのロジックを明確にすること。
- ・意欲的に高い目標値を掲げることもあると思うが、同時に「どうすればその目標を達成できるのか」という具体的な戦略や手法を伴わなければ意味がない。
- ・また、オーバーツーリズムの懸念も踏まえ、日本人旅行者と外国人旅行者が調和した姿が望ましい。
- ・その実現のためには、季節波動や、繁忙期と閑散期の間の誘客（ショルダーシーズンの活用）、週末と平日の需要の平準化など、調和に向けたきめ細かな視点を持った計画策定を行うこと。

(塩野観光部長)

- ・各部局におかれましては、知事指示事項を踏まえ、引き続き観光誘客に取り組んでいただきたい。
- ・これで第1回の三重県観光誘客推進会議を終了する。